



—東北生産性本部—

ものづくり企業説明会開催

～企業23社エントリー、来場者124名～

2月8日(水)13時半から17時まで、江陽グランドホテルに於いて、当本部が主催し、宮城労働局委託事業の一環である『ものづくり企業説明会』を開催した。

今年度のふるさとハローワーク事業の目的は、正規雇用化の促進支援、地域雇用対策の推進、障害者の雇用促進である。

今回の『ものづくり企業説明会』は、地域雇用対策の推進に向け、宮城県内ものづくり企業の理解促進を図るため、ものづくり技術系スキルを持った方(県内理工系の大学生や高等専門学校等含む)を対象とした会社概要や採用計画等の説明会であった。

県内企業より23社が参加し、当本部の賛助会員からも東北発電工業株式会社、東北リコー株式会社、株式会社本山製作所、株式会社鐘崎、東北緑化環境保全株式会社、財団法人東北電気保安協会、東北特殊鋼株式会社、東北計器工業株式会社の8社が参加した。

寒さ厳しい中ではあったが、開催予定時間前からものづくり企業に就職希望の方や興味を持っている方が集まり、大学生を中心として124名の来場者があった。

長引く不況や震災の影響もあり、雇用を巡る環境は今冬の寒さに匹敵するような情勢であるが、雇用は生活の基盤であり、雇用問題の拡大は社会不安に繋がるものであることから、行政と企業が連携を図りながら、生活基盤の確立に向けて、社会全体として取り組んでいく必要がある。

地域と共にある東北生産性本部として、技術・技能のスキルを持った人と、ものづくりの人材を求めている企業の橋渡しに多少なりとも貢献できた企業説明会であった。

今後の予定

1. 第153回理事会

と き 平成24年5月上旬開催予定
ところ 仙台商工会議所内
議 題 第55回通常会員総会付議事項他

2. 第55回通常会員総会

と き 平成24年5月25日(金)13時半～
ところ 仙台商工会議所7階大会議室
議 事 平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画・収支予算他

3. 特別講演会

と き 平成24年5月25日(金)14時40分から16時まで(総会終了後)
ところ 仙台商工会議所7階大会議室
テーマ 『我が国の生産性の実態と課題』
講 師 日本生産性本部参事 北浦正行 氏

第一義 ～健全な上司に健全な部下が宿る～

全国の労働局に寄せられたパワハラに関する相談件数が、2010年度は8年前に比較して6倍となり約4万件に及んだ。こうした状況を踏まえて国も漸く重い腰を上げ、1月末にパワハラの定義を示し、3月までには問題解決のための取り組みを纏める予定という。この背景には、自殺者が平成10年度から13年連続3万人を超えていることもある。セクハラは法的な整備がされて認識も高まってきたが、パワハラは指示命令や指導育成との関係があり、企業の中では藪の中に置かれていた。足を踏まれた人は何時までも覚えているが、踏んだ人はその記憶はない。それを繰り返せば犠牲者も出る。厚生労働省が示した内容にもあるように、上下関係の中で人権を否定するような言動は厳に許されない。会社においては、トップの姿勢、ルール の 制定、教育の徹底が早急に求められる。その一方で、叱られると黙り込んでしまう若者が増え、上司も悩んでおり、叱り方の教室が繁盛している。職場の要は管理職であり、管理職を希望しない人が増えることは企業の本来の姿ではない。年功序列が崩れた職場にあって、部下を思う厳しい指導は堪えられるが、上司のための度を越えた指導は堪えられない。健全な部下の育成には健全な上司が必要である。(記S・S)